

# 地域経済の創造

## 事業承継

### 現状の課題認識

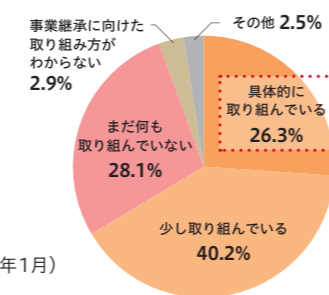
近年、後継者難等の種々の要因から、中小企業者の事業承継の準備が進んでいないことが社会問題となっており、地域経済への影響が懸念されています。

三重県においても事業を継続する(売却・譲渡含む)予定の企業のうち、事業承継について具体的に取り組んでいる企業は26.3%に止まっています。

当行は、これらの現状を踏まえて、お客さまに最適な支援を行い、地域経済の発展に資することをめざしています。

(出典) 三重県内中小企業の事業承継に関するアンケート調査結果 (2018年1月)

### 事業承継に関する取組状況



### 課題解決に向けた取組み

#### 事業承継ファンド

実際の支援事例としては、2019年12月に当行100%出資の子会社として設立した「百五みらい投資」が「AIDMA 1号ファンド」を組成し、2019年度には1先、2020年度には2先の企業に対して投資を行いました。

全ての投資において、事業承継を目的とした取組みであり、事業承継にお悩みの経営者ニーズにお応えしてきました。

現在は投資した企業に対して、「百五みらい投資」のメンバーが社外役員として経営に参画し、企業価値向上に関する各種支援を行っています。投資後も百五銀行のネットワークを活用した独自の支援を行うことで、お客さま、そして地域とともに、持続的かつ安定的に成長していくことをめざします。



#### 百五後継者育成塾

百五銀行と百五総合研究所は、お取引先の若手経営者、幹部候補の方を対象として、事業承継対策の必要性や対応策、経営者に求められるマネジメントについて学ぶセミナーを開講しました。



#### M&Aオンラインセミナー

ネクストノーマル時代に理解すべき企業経営のポイントなどを解説したWEBセミナーを開催しました。当日は500名近くの方にご視聴いただき、M&Aに対するお取引先の意識の高さを再認識しました。

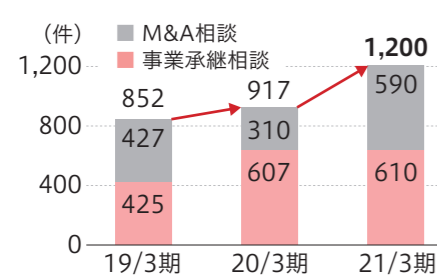


### 取組実績

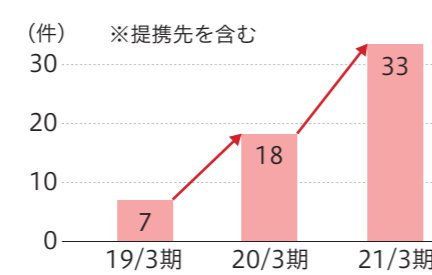
営業店と本部担当者が連携して、お客さまのニーズにきめ細かくお応えした結果、事業承継・M&Aの相談件数は、年々増加しており、2020年度は1,200件となりました。

事業承継・M&A支援課に行員11名を配置し、親族内承継、従業員承継、投資ファンドを含む第三者承継など、お客さまの事業承継方針に沿って、ワンストップでサポートできる体制を構築しており、事業承継コンサルティング件数、M&A支援先数ともに増加しています。

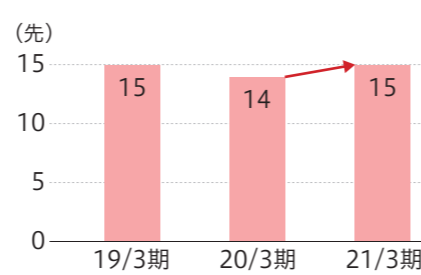
#### 事業承継・M&A相談件数



#### 事業承継コンサルティング件数



#### M&A支援先数



## ビジネスマッチング

お客さまの販路拡大や経営課題の支援など、地域のネットワークを活用したビジネスマッチングの推進に積極的に取り組んでいます。

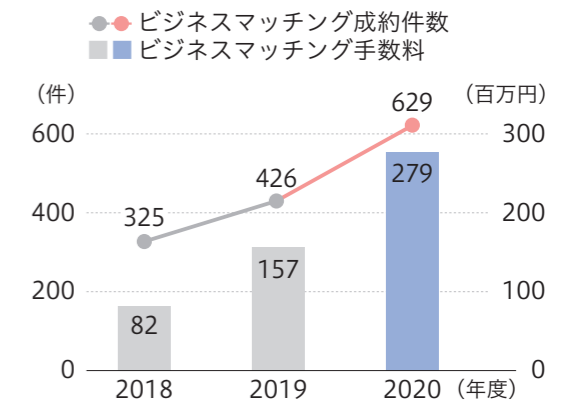
また、DXの推進による生産性向上、新製品の開発、コスト削減などの経営課題に対し、お客さまのニーズに合致したビジネスパートナーをご紹介します、お客さまの事業成長をサポートしています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、販路拡大について悩みを抱えるお客さまがいらっしゃる一方、商談会の多くは中止となりました。そこで、従来予定していた商談会をオンライン化して開催し、広域での新たなビジネスパートナーとの出会いの場を提供しました。計105先のお客さまにご参加いただき、販路拡大の支援を行いました。

また、脱炭素、ESG、SDGsなどの環境に配慮した経営を求められる時代になり、消費電力の削減、グリーンエネルギーの活用のため、自家消費型太陽光設備の導入を希望するお客さまの声は多く、ビジネスパートナーの紹介依頼が大幅に増加しました。

今後も、お客さまの課題解決につながるビジネスマッチングを推進し、お客さまとともに持続可能な社会の実現をめざしていきます。

### ビジネスマッチング成約件数・手数料



### 地域のキャッシュレス化への取組み

#### 三重県地域活性化キャッシュレスモデル実証事業

地域における少子高齢化や人手不足が進むなか、事業者の生産性向上が課題となっています。当行は、事業者の課題解決の一手段としてキャッシュレスを推進しています。

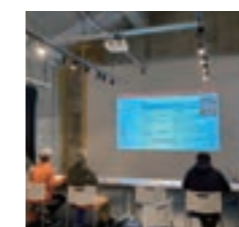
2021年1月には、三重県から「地域活性化キャッシュレスモデル実証事業」を受託し、桑名市および名張市の2地域で実証事業を実施しました。

参加20店舗に、各種クレジットカード、電子マネー、QRコード決済を1台で対応できる決済端末を設置し、日々の決済データを収集・分析するなど、キャッシュレス決済導入による生産性向上効果を検証しました。



#### 実証結果報告会の実施

実証結果として、つり銭など現金管理の負担軽減、来店客の手持ち現金に左右されず「顧客単価」の向上につながるなど、生産性向上効果が確認できました。また、決済データの分析結果を広告など販促促進に活用するなど、さらなる生産性向上につながる手法を提案しました。



今回の実証事業結果については、WEBセミナー形式の報告会を開催し、実証地域だけでなく、三重県内の各地域の皆さまにも共有しました。

今後も、地域でのキャッシュレス推進を通じて、地域経済の発展に貢献していきます。

### 実証実験結果発表(アンケート結果より)

